

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2022年 1月 26日

事業所名:北但広域療育センター児童発達支援センター「すまいる」

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価					保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	未回答	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・コロナ禍において、グループや活動内容によって部屋が狭かったり、足りていないときがある。蜜を避けるために時間をずらしたり活動内容を工夫している。	38	4	0	2	0	・より良い療育の提供を目指し、利用人数に応じたプログラムの工夫や十分なスペースの確保に努めます。
	2 職員の適切な配置	・児童発達支援管理責任者に加え、基準以上の保育士・児童指導員を配置し、加えて理学療法士、言語聴覚士、作業療法士を配置している。 ・子どもたちのニーズに合わせたグループ編成として職員を適切に配置している。	38	2	2	2	0	・保育士・療法士等のスタッフそれぞれが療育に必要な適切な配置に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・全館バリアフリーになっており、子どもから見た動線に配慮した上での構造化を実施し、必要に応じて改善している。	42	1	0	1	0	・視覚的な手がかり等を有効活用し、より、子どもたちにとって分かりやすい環境整備に努めます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日、療育後に掃除に加え消毒を行っているが、細かい部分まで行き届いているかの見極めが難しい。 ・定期的に換気に努めるとともに、空気清浄機、加湿器等も使用している。	41	3	0	0	0	・新型コロナウイルス予防のために療育後の掃除、消毒、換気を継続して実施していき、安心していただける空間作りに努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・毎日の療育終了後にカンファレンスを行い、業務の効率化を含めて情報共有や提案を行なっている。	/					・毎日の療育後の振り返りを通して、職員のスキルアップを図るとともに、職員間の情報共有により業務の効率化に努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・前回受審した、第三者評価結果に加え、新型コロナウイルス対策を含めた業務改善を検討・実施している。	/					・第三者評価結果を定期的に振り返り、業務改善につなげていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部講師による机上研修や療育現場でのスーパーバイズに加え、オンラインセミナーを受講し資質向上を目指している。	/					・外部講師による専門的な研修を継続して実施していきます。また、オンラインでの研修を積極的に受講し、資質の向上に努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・利用開始時のアセスメントや初回評価の方法を改善し、スムーズな利用に繋げる努力を行っている。	42	1	1	0	0	・アセスメント、モニタリングの際は、子どもと保護者からのニーズを傾聴し、課題の分析を行い計画作成にあたります。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・個別支援会議を実施し、グループ・個別それぞれに個々の特性や状況に合わせた計画を作成している。	/					・今後もグループ療育と保育所等訪問支援などの地域支援に合わせ、必要に応じて個別療育(ST、OT、PT)を組み合わせた計画を作成します。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・計画には、項目・具体的な到達目標に対する、具体的な支援内容をわかりやすく明記している。	40	1	1	2	0	・児童発達支援計画には、具体的な本人の課題や保護者のニーズを取り入れて、保護者へわかりやすく丁寧に説明します。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・それぞれの子ども達に合った支援方法を職員間で共有し、年間スケジュールに沿って日々支援を行なっている。	40	2	0	2	0	・児童発達支援計画に沿って、それぞれの子どもたちの状況や支援目標に沿った支援方法を職員間で共有して実施します。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・グループごとに担当者を決め、児童発達支援管理責任者を中心に話し合いを行い、プログラムを作成している。	/					・年間計画をもとにグループの担当者を中心にプログラムを検討作成します。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・指定管理上、原則として土・日・祝日は休館日となっている。 ・平日の療育時間以外での相談等について対応している。	/					・平日は療育時間以外でも保護者の相談に応じます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・グループごとに年間計画を策定し、教材ソフト等も活用しながら定期的に活動内容の見直しを行い、プログラムを立てている。	37	5	1	1	0	・教材ソフト等を活用して子どもたちの状況に応じた活動プログラムの内容の工夫やきめ細やかな支援に努めます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎朝の療育前に必ず、職員間で確認を行い、特筆すべき事項があればチーム全体で周知している。	/					・事前の情報共有や役割分担をするなど安全かつスムーズな支援の提供に努めます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・療育終了後のカンファレンスで情報共有を行い、特記事項を記録している。	/					・日々の振り返りを継続し情報共有に努めるとともに、記録に残し次回の療育につなげます。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・支援記録に利用時の様子や支援の状況など、重要なポイントを記録し、担当者間で改善点を検討している。	/					・日々の記録を正確に記録をし、関係職員と共有することで課題分析を行い、改善していけるように努めます。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的なモニタリングを、6か月に1回以上行い、必要に応じて計画の見直しを実施している。	/					・定期的なモニタリングに加え、子どもたちの状況に応じてモニタリングを行い、計画を見直します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価					保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未回答	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	/					・今後も依頼に応じて会議等へ参加します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/					・今後も関係機関との連携やセンター内においても療士や医療的ケア児コーディネーター等とも連携しながら支援を行います。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/					・今後も関係する医療関係機関等との連絡しながら支援を行います。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	/					・就学に向けた保護者への支援を継続するとともに、保育所等訪問支援による保育所等との連携強化に努めます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	/					/
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	/					・発達障害者支援センターの実施するコンサルテーションの有効活用や、研修へ積極的に参加します。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	19	6	7	11	1	・並行通園のため、現在予定はしておりません。 ・こども園に通っているのがあえて療育で交流する必要は感じていない。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	/					・事業の独自性と新型コロナウイルス感染防止を優先してイベントを開催を検討していきます。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	43	1	0	0	0	・今後も丁寧に保護者へわかりやすく説明するとともに、想定される事項についても確認を行っていきます。 ・いつも丁寧です
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	43	1	0	0	0	・今後も丁寧に保護者へわかりやすく説明を行っていきます。 ・具体的でないものもある。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	33	5	1	5	0	・保護者学習会等の実施の際には十分周知できるように配慮していきます。 ・オンラインを含めた情報提供の手段を検討します。 ・おひさまテラスなどの利用はありませんが、生活の中での困りごとは先生がアドバイスくれました。 ・これから参加予定です。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	40	4	0	0	0	・今後も療育後には、療育時の様子や子どもの発達状況や課題をお伝えし共通理解に努めます。また、時間をとって相談できることを再度周知し、保護者との共通理解に努めます。 ・ただならぬ遊びで意味があるのかと、時間が過ぎるのを待つ感じの時あり。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	40	0	1	3	0	・普段の療育時だけではなく、ご希望に応じて事業所内相談や家庭連携、また電話相談についても丁寧に対応します。 ・毎回相談ができ、その都度助言がもらえてとても助かります。 ・毎回どうですかと確認してください。 ・いつも助けられています。 ・まだ1回しか利用していないのでわかりませんが、大丈夫だと思いました。 ・先日、私がちょっと不安定だった時に時間をとって、別枠で相談に乗っていただけ助かった。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	28	6	1	9	0	・保護者会等を通じて、保護者同士の連携をより深めることが出来るような機会づくりや、各活動開催の周知に努めます。 ・自分が参加していないのでわかりません。 ・利用していないのでわかりません。 ・まだ1回しか利用していないのでわかりませんが、大丈夫だと思いました。 ・同じグループ内のお母さん方とお話できたらいいと思う。(学年が同じだし、共感しやすいので)
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	27	3	0	14	0	・保護者から頂いたご意見を真摯に受け止め、改善点を通信やホームページ等でお知らせしていきます。 ・苦情があるのかわかりません。 ・まだ1回しか利用していないのでわかりませんが、大丈夫だと思いました。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	39	3	0	2	0	・本人の分かったに繋がるように、個々に合わせた支援方法で意思の疎通や情報伝達出来るように努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価					保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未回答	
保護者への説明責任・連携支援	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎月の「風便り」「すまいる通信」を希望に応じて紙・データで配布して情報提供を行っている。 ・過去の配布データをホームページで閲覧可能としている。	38	4	1	1	0	・引き続き定期的な情報提供を行うとともに、SNSやホームページ等を活用した情報提供をしていきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報の取扱いに関しては、全職員が十分に配慮し対応している。 ・契約時の重要事項説明時に個人情報保護についての説明を行ない、同意書にサインをいただいている。	41	2	0	1	0	・今後も個人情報取り扱いに関しては十分に注意を払っていきます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・マニュアルは作成されており、随時更新して職員への周知に務めている。 ・感染症対応については、特に新型コロナウイルス感染防止について随時保護者への情報提供を行っている。	35	4	0	5	0	・今後は感染症以外についても周知の方法を検討し子ども、保護者にも分かりやすいマニュアル作りを行っています。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・避難訓練、消火訓練を年に2回実施しているが、親子通所が原則のため、防犯訓練等は実施していない。 ・災害時の避難方法については、マニュアルを掲示して不測の事態に備えている。	23	3	1	16	1	・火災、地震等の災害や現場を想定した訓練の実施を検討していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・職員研修を行った上で、年2回の虐待防止チェックを行い、結果を会議でフィードバックし、虐待防止に努めている。	/					・今後も同様に虐待防止への取り組みを実施し、虐待防止に対する意識を深めます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・現在該当する利用児はいないが、事例検討会・会議等で身体拘束への認識を深め、環境づくりに配慮する等、身体拘束のない支援を実施している。	/					・今後も引き続き、身体拘束に対する認識を深め、適切な支援に務めます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・利用開始時にアレルギーの有無を所定様式で提出いただき事前に把握している。	/					・今後も食事を提供する対象児への適切な対応に努めます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットが発生した場合、速やかに報告書へ記載し、部署会議で対応策を検討し、全体の会議で周知を行なっている。	/					・小さな気づきでもヒヤリハットとして報告することで、事故を未然に防ぎ支援の充実に努めます。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしていますか		42	1	0	1	0	・いつもニコニコ楽しそうにしています。 ・まだ1回しか利用していないのでわかりませんが、楽しみにしてくれるとありがたいです。 ・子ども自身も楽しく活動できています。ありがとうございます。
	2 事業所の支援に満足していますか		40	3	0	1	0	・他の施設も「すまいる」のようだったらいいのに